

今月のことば

「迷惑をかけるな」
ではなく
「迷惑をかけてくる」と
気でがせて
くれるのが
化きまの教え

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

こ いけひであき
小池秀章

昔、ある人から、「自分の言葉が、中学生になつたばかりの息子を、苦しめることになつてしまつた」という話を、聞いたことがあります。その人は、息子さんに向かって「お前も、もう中学生になつたんだから、他人に迷惑をかけるなよ」と、言われたそうです。別に間違つたことは言つていません。けれど、息子さんは、お父さんの言う通り、他人に迷惑をかけないようにしてようと、一生懸命になればなるほど、「また、迷惑をかけてしまつた」と、自分を追い込んでしまつたというのです。

また、あるお笑い芸人が、「他人に迷惑をかけたくない」と言う人に、「存在 자체が迷惑だ」と突っ込みを入れていました。きつい言葉のようにも聞こえますが、冷静に考えると、全くその通りです。私たちが生きていること 자체、多くの人に迷惑をかけてしまつていています。

お寺の掲示板に、「迷惑をかけるな」と教えるのが道徳。「迷惑をかけている」と教えるのが宗教」と、ありました。「迷惑をかけるな」と言われて、迷惑をかけずに生きることの出来る人がいるでしょうか。

仏教では、「皆が繋がり合い、支え合つて生きている」と、説かれています。別の言い方をすると、「お互に迷惑をかけ、迷惑をかけられて生きている」ということなのです。そのことを忘れず生きていくことが、大切なではないでしょうか。

合掌